

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第552号 令和6年7月・8月



『カトレア、イングリッド』 森本 晋

## 目 次

	頁		頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	6) 理事会報告	広報部 … 11
2) 専門医に学ぶ	田中医実 … 5	7) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 14
3) 学術講演会予定	学術部 … 8	8) お知らせ	事務局 … 21
4) 広報だより	下村 智 … 9	9) あとがき	近藤之暢 … 21
5) 連載企画	馬場一徳 … 10	10) 表紙のことば	森本 晋 … 22

## 保健所だより、リニューアルします！

これまで西多摩保健所からは、感染症だよりを中心に記事をお届けしてまいりましたが、月報として再集計したものの掲載で、迅速性に欠けるとい点が課題でした。この度、西多摩感染症週報の発信を開始しましたので、この取組をもって、西多摩医師会報での感染症だよりは終了とします。西多摩保健所のホームページに、右のようなバナーがあり、毎週公開をしていますので、ぜひ、先生方の日々の診療にもご活用ください。

毎週金曜日更新



西多摩感染症週報

また、保健所では今年度より新たに、「市町村連携課」が設置されました。この折に、改めて保健所の業務を医師会のみなさまにも知っていただければと、今後は内容を保健所業務全体に拡大し、リニューアルした保健所だよりをお届けしていきます。ぜひご一読ください！

### 西多摩保健所長あいさつ

3年以上に及んだ新型コロナウイルス感染症への対応について、改めて西多摩医師会の先生方に感謝申し上げます。この間、保健所は所内一丸となってコロナに対応してきましたが、コロナ禍が保健所業務に与えた影響はこれまでにないものでした。

コロナ禍を経て、都は、今後、新興感染症が発生した際に、保健所が必要な役割を果たすため、保健所のあり方について検討を進めてきました。本年1月、都保健所の体制・機能の強化について都の方針が示され、新興感染症発生を見据えた平時からの備え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進とともに、市町村等関係機関との連携の強化を図る取組を進めていくこととしています。

これを受けて、西多摩保健所においても4月に市町村連携課が新設されました。西多摩圏域では、これまでコロナ対応で培った、医師会をはじめとする関係機関との連携をこれまで以上に強化し、感染症対策等に取り組んでまいりますので、宜しく願いいたします。

感染症に限らず、保健所は地域の健康危機管理の拠点として、市町村や医療機関など関係機関と協力し、住民の安全・安心の確保に努めています。令和6年1月に発生した能登半島地震では、保健所から災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）や保健師チームを派遣し、被災地支援活動に取り組みました。私自身、1月下旬に現地を訪れ、現地の被害状況の把握に尽力してまいりました。現地の混乱を目の当たりにして、平時からの備えがいかに重要であるかを痛感したところです。

また、東京都保健医療計画、健康推進プラン21（第三次）等の多くの保健分野の計画が改定されたことも踏まえ、現在、「西多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン」の改定作業を進めています。

保健所は引き続き、様々な社会情勢の変化に対応し、地域の誰もが安心して暮らすことができるよう地域の保健医療を推進する取組を行ってまいります。今後とも、住民の皆さまや関係機関・団体の方々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

渡部 裕之

## 保健所業務概要

東京都の保健所は、多摩地域及び島しょ部の二次保健医療圏に各1か所配置されています。以前は、保健所が住民に身近な保健サービスを行っていましたが、現在は市町村が身近な保健サービスを行い、保健所は広域的、専門的、技術的拠点としての機能を果たしています。

西多摩保健所を含む多摩地域の5保健所では、令和6年4月に組織改正が行われ、従前の企画調整課、生活環境安全課及び保健対策課の3課体制から管理課、市町村連携課、生活環境安全課及び保健対策課の4課体制となり、圏域の関係機関との連携をさらに強化し、地域保健医療や健康危機管理に係る業務を行っています。

管理課では、保健所組織の運営に加え、医療機関における医療安全に関する研修会や患者と医療機関の良好なコミュニケーションを支援する患者の声相談窓口の運営、診療所等の届出の事務、医療従事者の免許受付、歯科保健の推進などを行っています。近年では、障害者の歯科保健をさらに推進するため、「歯みがき支援ポスター」や「歯科コミュニケーション支援カード」の作成、普及啓発に取り組んでいます。

市町村連携課では、地域保健医療推進プランの策定と推進、保健所の広報や各種統計調査、受動喫煙対策などの取組とともに、西多摩圏域の市町村、三師会、医療機関などの関係機関との連携を強化し、地域の保健医療サービスの向上や感染症、地震、風水害といった健康危機を見据えた平時からの備えに取り組んでいます。

生活環境安全課は、薬事から環境衛生、食品衛生、保健栄養に至る幅広い分野において、日々、西多摩圏域の薬局や旅館、飲食店などを回り、監視指導を行うことで、不良医薬品による危害の未然防止、食中毒の防止、入浴施設におけるレジオネラ症防止など、住民の安全、安心な暮らしを守る取組を行っています。

保健対策課では、感染症の発生予防とまん延防止、結核医療費助成や骨髄ドナー登録、肝炎ウイルス検診を行っています。また、精神保健福祉の相談、在宅難病患者への療養相談を担当し、保健師が日々、地域の方々の悩みと向き合いながら取り組んでいます。

今後、この保健所だよりにおいても保健師活動コラムとして、地域における保健師の活動をお届けしていきます。



## 保健師活動コラム Vol. 1

### ～若手保健師の活躍を見守る～

西多摩保健所には現在 27 名の保健師が在籍しています。精神、難病、医療的ケア児等の相談支援を行う地域保健担当、感染症の発生予防とまん延防止の対応を行う感染症担当、患者の声相談窓口を担当する保健医療担当、西多摩圏域全体の企画調整や人材育成を担当する企画調整担当という 4 つの部署に配置されています。医師会の先生方の日常診療の場で、保健師との関わりは限られているかもしれませんが、この場を借りて保健師の日々の活動をご紹介します。各々が感じたことや思いなどもお伝えできればうれしく思います。よろしくお願いします。

さて今回は、地域保健担当の活動をご紹介します。私は同担当の課長代理です。現在、17 名のうち約半数が経験 5 年未満の若手保健師です。日々の相談の内容に苦慮しつつも、住民の課題が解決したときには一緒に喜ぶ姿を見て、ほほえましく感じています。

一例をあげます。今、新任期の保健師が統合失調症の治療を中断してしまった方の訪問を継続しています。措置入院をきっかけとして保健所の関わりが始まり、医療機関と相談しながら退院後の生活を組み立てました。退院後は、自立支援医療の手続きのお手伝い等、ご本人の困りごとに寄り添いながら、つながりが切れないような支援を展開していました。しかし、認知症のご家族のお世話に追われるうちにご自身の通院が途切れがちになり、ついには治療を中断してしまいました。担当保健師は、「〇〇さんが心配です。」と声掛けをしながら受診を勧めていますが、ご本人の体調が悪いときはお話しすら十分できないこともあります。

保健師として、ご本人の状態を確認しながら、できることを模索していますが、併せて、認知症のご家族支援も検討が必要となり、地域包括支援センターにも見守り訪問をお願いする等、関係機関と連携しながらご家族まるごとの支援を行っているところです。

新任期の保健師は、訪問先から保健所に戻ったあと、必ず私や他の課長代理らに報告をしてくれます。ご本人に会えた時は、詳細な情報と今後の支援の悩みを語り、会えなかったときは、「このままで大丈夫でしょうか。」などと残念そうな表情をしつつも、「次の訪問予定をたてます！」とあきらめない姿を見せてくれます。対象者が再び治療につながるように若手保健師が地道に関わろうと、頑張っている姿に触れ、私たち先輩保健師も若手の成長から、日々元気をもらっています。



# 専門医に学ぶ 第167回

## ヘリコバクター・ピロリ菌未感染の胃癌の特徴

公立阿伎留医療センター 消化器内科 田中 匡実

私は消化器内科、消化器内視鏡、消化管の専門医・指導医として早期の食道癌、胃癌、大腸癌に対する内視鏡的治療を積極的に行っており、2023年に当院に赴任してからも多数の内視鏡治療を行っている。また、それに加えてピロリ菌と胃癌に関する臨床研究や執筆などを行ってきた。

胃癌はピロリ菌感染を契機にして胃粘膜に慢性炎症が起こり、その結果生じた腸上皮化生を背景に発生するものであり、ピロリ菌未感染の胃には胃癌は発生しないと考えられていた<sup>1, 2)</sup>。しかしながら、頻度は少ないものの、ある一定の割合でピロリ菌未感染の胃にも胃癌が発生することが知られている。近年はピロリ菌未感染の胃に発生する胃癌の報告が増加している。特にピロリ菌未感染の胃粘膜に生じる早期胃癌に関しては内視鏡的に5タイプに分類できると考えられている<sup>3)</sup>。これら5つのタイプの病変はどれも内視鏡的に特徴的所見を呈するため、一度経験すると次回以降発見することが容易になる。そこで、ピロリ菌未感染の胃に発生する早期胃癌について述べる。

### ◎ピロリ菌未感染の定義について

ピロリ菌未感染の厳密な定義としては、1. ピロリ菌の除菌歴がない、2. 抗体法を含む2つ以上の感染診断においてピロリ菌が陰性である、3. 内視鏡所見で萎縮がなく、かつ、体下部小弯にRAC (regular arrangement of collecting venules) と呼ばれるヒトデ状の血管模様を認める、4. 病理組織学的に萎縮を認めない、以上4つ全てを満たすことが必要である<sup>3)</sup>。特に、血清ピロリIgG抗体に関しては近年ELISA法から簡便なLatex法で施行されていることが多いが、Latex法は偽陽性（ピロリ菌未感染でも血清抗体が陽性）になることがある（特に若い女性で多いとされる）。そのため、血清抗体のみで判断せずに一度は内視鏡検査を行い、必要に応じて尿素呼気試験などの別の感染診断方法で確認することが望ましい<sup>4)</sup>。

### ◎ピロリ菌未感染早期胃癌の内視鏡的特徴

次にピロリ菌未感染早期胃癌で内視鏡的特徴を有する5タイプの病変を提示する。

#### ① 体中部～下部 (M、L領域) の褪色調病変

このタイプの病変は病理組織学的には印環細胞癌を主体とした未分化型腺癌であることが多い。ピロリ菌未感染胃癌の中でも最も古くから報告があり、症例数も最も多い<sup>5)</sup>。内視鏡的にはM領域あるいはL領域の萎縮腺境界に褪色調の平坦あるいは軽度陥凹病変して認識される(図1)。

そのほとんどが粘膜内癌で内視鏡治療できることが多いとされるが、粘膜下層に浸潤する症例もあることも報告されている<sup>6)</sup>。

② 穹窿部～体上部領域（U 領域）に生じる SMT 様の隆起病変

このタイプの病変は 2010 年に上山らによって報告された胃底腺型胃癌<sup>7)</sup>であり、近年、症例報告も増加してきている。内視鏡的には U 領域に多く、SMT 様の隆起病変として認識されることが多い（図 2）。胃底腺型胃癌は多発することもあるほか、粘膜深層の胃底腺から発生するため粘膜下層に浸潤する割合も高いとされる。

③ 体上部～体中部（U、M 領域）に生じる白色扁平隆起病変

このタイプの病変は肉眼的に白色の扁平隆起所見を呈していることが特徴である（図 3）。発生する部位としては U 領域から M 領域に認めることがほとんどである<sup>8)</sup>。粘膜内癌で内視鏡的に切除することが可能であることが多いが、難易度がやや高い。

④ 体上部～体中部（U、M 領域）大弯領域に生じる発赤調のポリープ病変

このタイプの病変はラズベリー型腫瘍と呼ばれ、過形成性ポリープ（HPP）のような発赤調の所見を呈する。HPP の多くは萎縮のある粘膜に発生することが多いのに対して、ラズベリー型腫瘍は萎縮のない胃粘膜に発生することが特徴である。内視鏡的には U 領域と M 領域に見られ、そのほとんどの症例が大弯に認められるのが特徴的である（図 4）。そのほとんどは粘膜内癌であり内視鏡的切除が可能である。

⑤ 前庭部（L 領域）に生じる辺縁隆起を伴う陥凹性病変

このタイプの病変は前庭部（L 領域）に辺縁隆起を伴う陥凹性病変を認める（図 5）のが特徴であり、時に陥凹内にびらんを伴うこともある。多くは粘膜内癌で内視鏡的治療が可能と考えられるが、極稀に進行癌になる可能性もあるとされている。

最後にここまで述べてきた 5 つのタイプのピロリ菌未感染胃癌に関して、それぞれのタイプの腫瘍の内視鏡的な好発部位をまとめると図 6 のようになる<sup>3)</sup>。

#### まとめ

一般臨床では、ピロリ菌未感染の胃であれば定期的な内視鏡検査は必要ないとの意見もあるが、ピロリ菌未感染でも稀ではあるが胃癌は生じることがあるため定期的な内視鏡検査は必要である。さらに、ピロリ菌未感染の胃癌は 5 タイプであり、それぞれが部位的にも肉眼的にも特徴的な所見を有するため、知っている内視鏡検査で発見することは比較的容易であり、癌が疑われた症例は専門医への紹介が望ましい。



図1. 前庭部後壁に軽度陥凹の褪色调病変を認める (赤矢印)

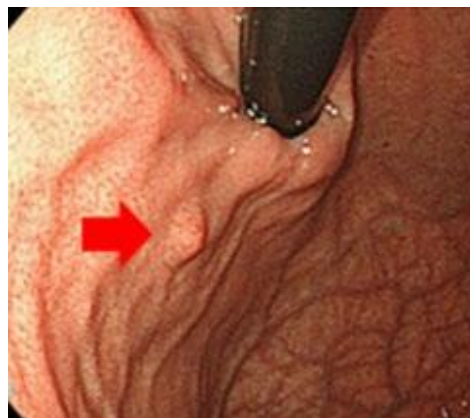


図2. 体上部後壁に SMT 様の隆起性病変を認める (赤矢印)

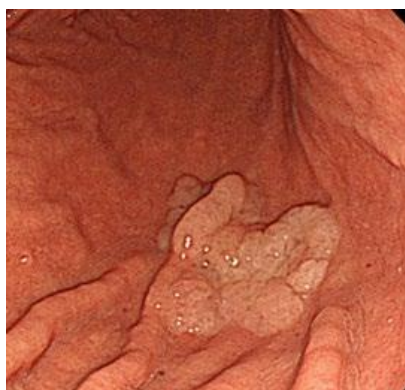


図3. 体中部大弯に白色調の扁平隆起性病変を認める



図4. 体上部大弯に発赤調のポリープ様病変を認める



図5. 前庭部後壁に辺縁隆起を伴う陥凹病変を認める

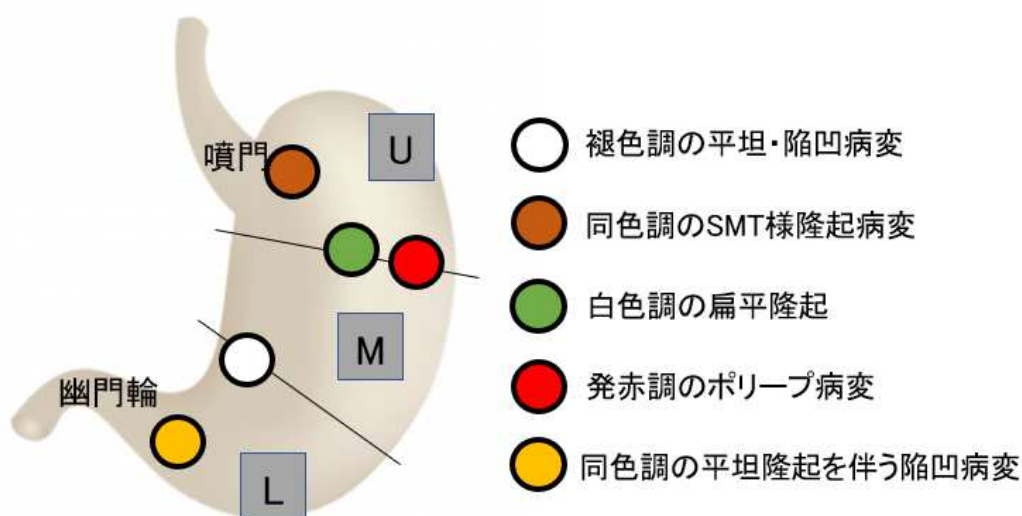


図6. ピロリ菌未感染の胃に生じる胃癌の種類と好発部位

## 参考文献

1. Correa P. : Helicobacter pylori and gastric carcinogenesis. Am J, Surg Pathol.:19 S37-43, 1995.
2. Uemura N, et al.: Helicobacter pylori infection and the development of gastric cancer. N Engl J Med : 345:784-9, 2001
3. 田中匡実, ほか: ピロリ菌未感染の定義と未感染胃癌の典型例. 消化器内視鏡. 11 (2) 10 : 6-13, 2023
4. 田中匡実, ほか: 当院健診センターにおける血清 *Helicobacter pylori* IgG 抗体の使用経験. 日本臨床生理学会雑誌. 53 (2) 47-51, 2023.
5. Yorimasa Yamamoto, et al. : Helicobacter pylori-negative gastric cancer : Characteristics and endoscopic findings. Digestive Endoscopy. 27 : 551-561, 2015
6. 藤崎順子, ほか: Helicobacter pylori 陰性未分化型早期胃癌の特徴. 胃と腸. 49(6):854-861, 2014.
7. Ueyama H, et al.: Gastric adenocarcinoma of fundic gland type (chief cell predominant type) : proposal for a new entity of gastric adenocarcinoma. Am J Surg Pathol. 34: 609-619, 2010.
8. 田中匡実, ほか: 白色調隆起を呈する腺窩上皮型胃癌. 消化器内視鏡. 34(2);242-246, 2023

## ◇学術講演会予定

令和 6.6.17

開催日	開始～終了時間	会場	単位数	CC	集会名称・演題	講師(役職・氏名)
6/21 (金)	19:00 ～ 20:10	【Web講演】	1	24	「～ ARNI Hypertension Seminar ～ IN FUSSA」 演題1「ネフロン保護を目指した降 圧治療」 演題2「各ステージにおける心不全 治療薬の使い方」	総合座長：医療法人社団悠救会 波多野医院 院長 波多野 嗣久 先生 公立福生病院腎臓病総合医療センター センター長 中林 巖 先生 東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 講師 岩崎 陽一 先生
6/26 (水)	19:00 ～ 20:00	Web 配信 (Teams) 又は、 市立青梅総合 医療センター	1	12	「循環器疾患連携セミナー in Nishitama」 【オープニング】 【特別講演】 演題1「当院における最新治療に ついて(仮)」	座長：(医社) 賢秀会小机クリニック 院長 黒澤 毅文 先生 市立青梅総合医療センター 循環器 内科 部長 小野 裕一 先生 市立青梅総合医療センター 循環器 内科 医長 大谷 拓史 先生



## 広報だより

## 古典を振り返り



最近ある人から日本人なら古事記、日本書紀は読んでいたほうが良いよといわれました。古事記は天皇家の歴史を書いたものであり、日本書紀は国の歴史について書いたものだそうです。古事記については最近、読みましたが、まだ日本書紀は進めていません。勿論、現代語解釈付きのものです。

そもそもこの2冊はいずれも天武天皇が編纂を命じ、古事記が712年、日本書紀が720年といずれも紀元8世紀に8年の間隔で作成されています。天武天皇はこのほかに律令の編纂、仏教の経典を地方に配ったり、天皇による統治を強化していった人物です。そして古事記は神代から推古天皇まで、日本書紀は持統天皇までといずれも女帝で終わっています。

この女帝という点では最近の天皇の考え方に変更があってもいいのでは、と個人的には思っています。

戻りますと、古事記は序文によれば稗田阿礼という記憶の天才が「先代旧辞」「帝王日継」を覚えていたものを口述し、太安万侶が文字にまとめたものと言われています。天照大御神が岩屋に隠れて天地が闇に包まれた話や、須佐之男命が八岐大蛇を退治した話は小学校の道德の時間に先生から聞いた思いがあります。

ここで特筆すべきと思うのは、古事記以前の文章は漢文に訳したもので、当時の中国語でした。聖徳太子の作った十七条の憲法も日本語を漢文に訳して書かれました。ところが古事記は日本語がそのまま書かれている。もちろんひらがな、カタカナは生まれていませんので、文字は中国から輸入した漢字しかありませんが、その漢字を使って日本語の文章を書いたのです。例えば、次の文のように、特に太字の部分に注意するとよくわかると思います。「次國稚如浮脂而久羅下那州多附用幣流之時」(次に国稚く、浮ける脂の如くしてくらげなすただよへる時に) 訳すと地がまだゆるゆるふわふわの水に浮かぶ脂肪のように、水母(クラゲ)みたいにぶかぶかと漂っていた時という意味です。これは、夜露死苦(よろしく)と同じ発想です。この発明によって文字を持たない日本人が記述することができるようになったのです。

仮に古代の日本に入ってきたのが漢文でなくて英語だったら古代の日本人は日本語を話して、英語に訳して書いていたのだと想定されます。しかし、ここで日本人はローマ字を使って日本語を書くようになったのもすごいことだと思います。この漢文に訳して書いていたのを、漢字を使って日本語で書いたという事は、考えることが日本語で考えるようになった。そして将来的にひらがな、カタカナを発見していく事につながったと思われまます。日本人捨てたものではないなと嬉しくなりますよね。

日本のここ30年の停滞を鑑みると、歴史が証明するような深層にある大和魂がそろそろ芽吹いてもいい。また、最近兆候が、出てきたかなと思えることも希望を持って見ていきたいです。

古典を読みながら、過去を振り返るのは年取ったのでしょうか。明るい未来に夢を描きたいものです。

文責 下村 智

## ガイドライン、見てますか？

ばば子どもクリニック 馬場 一徳

外来診療をしていると、よく遭遇する疾患からまれにしか見ないような疾患まで様々な患者さんが来院されます。一度診断がついてしまえばあとは治療になるのですが、あまり見ないような疾患だと病態や治療などについてその都度勉強するようにしています。

最近では様々な疾患に対して診療ガイドラインができており、日本医療機能評価機構の Minds ガイドラインライブラリによると、歯科・看護領域も合わせて 500 近くのガイドラインがあるそうです (1)。昔のガイドラインというと診断基準や治療方針が書いてあるという印象ですが、今のガイドラインは診断や治療などに対して様々な論文からエビデンスを集め、推奨・非推奨を決めるようなシステムになっています。そのため、ガイドラインも頻繁にアップデートされていきます。

では、ガイドラインの浸透率はどのくらいなのでしょう？最近興味深い論文を読んだのでご紹介いたします。

東京都内の小児科医に、熱性けいれんの時にどのような説明・治療を行っているかというアンケートを取ったところ、ガイドラインをよく知っているという回答した小児科医が 6 割程度で、4-7 割はガイドラインと異なる治療や説明をしているという結果が出ました (2)。また、ギリシャの小児科医に同様のアンケートを取ったところ、項目により差はありますが 2-8 割の小児科医がガイドラインと異なる治療や説明をしており、その傾向は小児科医の経験年数が増えるにつれ増大する傾向があったそうです (3)。

熱性けいれんのガイドラインというのは日本に限らず世界中にあります、日本に限らず海外でも周知はされていないようです。熱性けいれんという小児科医では比較的一般的な疾患でもこの結果とすると、他科のガイドラインに関してはほぼ無知といってもいいかもしれません。

医学知識は加速度的に増えており、2011 年の論文では 1950 年代には医学知識の量が 2 倍になるのに 50 年かかっていたものが、1980 年には 7 年、2010 年には 3.5 年まで短くなり、2020 年には 2 か月ぐらいにまで短縮されているということです (4)。最近では ChatGTP などによる学習や診断が話題となっていますが、いずれにせよ医学知識を全部記憶するのは無理ですので、自分の治療が古い過去の治療になっていないか、その都度診療ガイドラインを確認していく必要はあると思います。

歳とともに勉強する体力も記憶力も厳しくなっていますが、全部のガイドラインに目を通すことは無理としても、日常でよく遭遇する疾患のガイドラインぐらいはせめて一度ぐらい目を通して、なるべくガイドラインに準じた治療を心がけるようにしたいと思っています。

(1) 公益財団法人日本医療機能評価機構 Minds ガイドラインライブラリ <https://minds.jcqhc.or.jp/>

(2) Sakai R, Okumura A, Shimizu T, Marui E Current explanations regarding febrile seizures provided by pediatricians in Tokyo. Dev Med Child Neurol. 2009 ; 51:651-652.

(3) Kopsidas I, Dasoula FE, Kourkouni E, Krepi A, Mystakelis H A , Spyridis N, Vartzelis G. Management of children with febrile seizures: a Greek nationwide survey Eur J Pediatr 2023 Jul;182(7):3293-3300.

(4) Densen P. Challenges and opportunities facing medical education. Trans Am Clin Climatol Assoc. 2011 ; 122 : 48-58.

**理事会報告**

★ Information

**4月定例理事会****令和6年4月23日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

**【1】報告事項****(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、4/19 に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

**(2) 各部報告**

総務部(社会保険担当)

資料により、4/17 に開催された「地区医師会社会保険担当理事連絡会」における令和6年度診療報酬改定の主なポイントについて

計理部

西多摩医師会会費等の請求方法を2期分よりハガキから電子メールに変更を予定している件

また、1期分の請求及び変更の告知については封書にて実施する件について

総務部

資料として、「2023年度の西多摩医師会事業報告書(案)」が示され、内容等の確認を要請内容等変更の必要ある場合は5/7までに事務局に連絡し次回理事会にて協議・決定を予定している件について

**(3) 地区会報告(各地区理事)：**

あきる野市：4/19 理事会開催、4/26 理事会予定、5/20 社員総会予定

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員3名、準会員2名の入会申請が紹介・報告され可決承認された  
また、正会員3名・準会員7名の退会及び異動届4件が紹介・報告された

**【3】協議事項**

特になし

**5月定例理事会****令和6年5月14日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤) 下線は Web 参加

**【1】報告事項****(1) 各部報告**

特になし

**(2) 地区会報告（各地区理事）：**

羽村市： 5/10 理事会開催 6/4 定時社員総会予定  
あきる野市： 5/17 理事会、5/20 定時社員総会予定

**【2】 報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員 1 名、準会員 4 名の入会申請が紹介・報告されたが、正会員の申請書に確認すべき事項あり承認を保留とした。準会員 4 名は入会が可決承認された  
また、正会員 1 名、準会員 5 名の退会及び異動届 2 件が報告された

**【3】 協議事項****(1) 「2023 年度西多摩医師会事業報告書（案）」について**

前回理事会にて標記（案）の内容等確認が要請されていたが各担当からの意見等なく、案の通り可決承認された

**(2) 理事・監事・医道審議会委員候補者の選出について**

役員改選に伴う告示により理事 12 名・監事 2 名・医道審議会委員 7 名の候補者届けが説明され選出について協議  
いずれも規定定数内の候補者数であり、資料の候補者を選出すること及び理事総数 12 名とすることが決議された

**【4】 その他****(1) 令和 6 年度 新型コロナウイルスワクチン接種の 8 市町村相互乗り入れに係る意見交換・検討**

標記に係る事務負担・事務費額・ワクチンの供給等について意見交換・検討  
情報・不確定要素等あることなどから継続協議することとした

**5月定例理事会****令和6年5月28日（火）****西多摩医師会館**

（出席者：進藤（幸）・古川・進藤（晃）・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤） 下線は Web 参加

**【1】 報告事項****(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告****(2) 各部報告**

特になし

**(3) 地区会報告（各地区理事）：**

青梅市： 5/27 理事会開催  
羽村市： 6/4 定時社員総会予定  
あきる野市： 5/17 理事会、5/20 定時社員総会開催  
瑞穂町： 5/21 定例会開催

**(4) その他報告：**

2023 事業年度に係る監事監査報告

5/22 に実施した 2023 事業年度の監事監査について監査報告書（写）により監査概要・結果等を報告

## 【2】報告承認事項

### (1) 入退会会員、会員異動について

資料により、前回保留となっていた正会員 1 名、準会員 10 名の入会申請が紹介・報告され可決承認された

また、準会員 12 名の退会及び異動届 1 件が報告された

### (2) 2023 年度「西多摩医師会決算報告書」について

標記報告書の資産・負債および収支の内容・状況等が説明・報告され承認された

### (3) 2023 年度「公益目的支出計画実施報告書」（計数）について

資料により 2023 年度決算に基づく標記報告書の計数等につき説明・報告され承認された

### (4) 2023 年度「西多摩医師会互助会会計収支計算書」について

資料により標記計算書の内容・計数等が説明・報告され承認された

### (5) 2024 年度定時社員総会の開催案内・資料等の発信について

資料により 2024 年度定時社員総会に係る会員への開催案内・送付資料等について説明され、発信が承認された

## 【3】協議事項

### (1) 定款施行細則第 18 条（理事の定数）第 1 項の一部改定について

標記改定案を資料として、改定の必要性・経緯・改定内容等について説明され改定の可否等協議

意見・異論等なく可決承認された

### (2) 理事候補者の辞退届による候補者の再選出及び理事総数の変更について

前回理事総数を 12 名としたが、理事立候補者 1 名の辞退が発生したため、資料により 11 名の理事候補者を再選出し、理事総数については 11 名とすることが上程され可決承認された

## 【4】その他

### (1) 令和 6 年度 新型コロナウイルスワクチン接種に係る 8 市町村相互乗り入れに係る事務取扱・接種機関の確保等について

資料により、5/14 の議論・5/24 の経過等をまとめた内容について説明・確認及び接種費用・国の助成金・ワクチン料金の見込み等に係る行政からの資料について紹介・説明。秋からの接種実施に向けては 7 月頃までにはある程度の結論が必要との認識が示された

**6月定例理事会**

**令和6年6月11日（火）**

**西多摩医師会館**

（出席者：進藤（幸）・古川・進藤（晃）・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・近藤） 下線は Web 参加

## 【1】報告事項

### (1) 各部報告

総務部：役員の出席を依頼（6/18の定時社員総会）

(2) 地区会報告（各地区理事）：

福生市： 6/4に定時社員総会開催

羽村市： 6/4に定時社員総会開催

## 【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、準会員4名の入会申請が紹介・報告され可決承認

また、準会員12名の退会が報告された

## 【3】協議事項

(1) 定款施行細則第18条（理事の定数）第1項の一部改定について

標記改定案を資料として、改定の必要性・経緯・改定内容等について説明され改定の可否等協議

意見・異論等なく可決承認された

(2) 理事候補者の辞退届による候補者の再選出及び理事総数の変更について

前回理事総数を12名としたが、理事立候補者1名の辞退が発生したため、資料により

11名の理事候補者を再選出し、理事総数については11名とすることが上程され可決承認された

## 【4】その他

(1) 「西多摩医師会・西多摩地域保健衛生担当課長会（6/3）」について

資料により、標記行政との打ち合わせ内容等が説明・報告され、以下の2点について当会としての対応等を協議

(2) 高齢者インフルエンザ接種価格について

行政からの接種価格に係る西多摩加算30円の廃止依頼への対応について

例年通り加算を継続して交渉することとした

(3) 8市町村コロナウィルスワクチン接種相互乗り入れスキームについて

行政（担当市）からの接種に係るスキーム案（資料No.4）について説明・紹介され、担当課長会において提案するため医師会としての意向が問われたことへの対応について

当会として本スキームの受け入れを回答することとした

## 会員通知

○会報5-6月号

○宿日直表（青梅・福生・阿伎留）

○学術講演会（5/15、5/21、5/23、6/19、6/21、6/26）

○産業医研修会（北多摩医師会7/5）

○ ” （西多摩医師会7/28）

○ ” （帝京大学医師会7/13・14・15）

○ ” （女子医大医師会10/27）

○令和6年度第1期西多摩医師会諸会費請求書

○西多摩医師会次期役員及び医道審議会委員の選出・選任告示

○2024年度西多摩医師会定時社員総会（6/18）開催案内

○西多摩医師会互助会「納涼の夕べ」（7/10）開催案内

○西多摩三師会令和6年度「総会・講演会・意見交換会」（7/13）開催案内

- 2024 年度西多摩医師会定時社員総会報告
- 2024 年度西多摩医師会互助会総会報告
- 令和 6 年度西多摩医師会館「糖尿病教室」「個別栄養相談」(7 月～3 月) 開催案内
- 令和 6 年度第 2 回東京 JMAT 研修会の開催について
- 医療保険委員会からのお知らせ(院内等への掲示を必要とする主な算定項目について等)
- 「」 (診療報酬点数改定講習会補足資料点数間違いのお詫び)
- 市立青梅総合医療センターより 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンス(5/14) 開催案内
- 公立阿伎留医療センターより 令和 6 年度外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンス(5/21)
- 令和 6 年度第 2 回東京 JMAT 研修会の開催について
- 情報提供(重複処方)
- 「がん治療連携指導致料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について(令和 6 年 7 月 1 日算定)
- 西多摩八市町村「在宅医療・介護ガイドブック」
- 市立青梅総合医療センターだより
- 東海大学附属八王子病院 2024 年度診療案内
- 都立小児総合医療センター医療連携だより
- 国際モダンホスピタルショー 2024
- 東京都 HIV 検査・相談月間チラシポスター
- 学校医会報
- 健康に配慮した飲酒に関するガイドライン及びリーフレットの送付について
- 疑義解釈資料の送付について(その 2)
- 令和 6 年能登半島地震における 5 月の JMAT 編成について(依頼)
- 台湾東部地震への医療支援について(お願い)
- 東京都医師会・禁煙推進企業コンソーシアム共催「2024 年世界禁煙デーイベント」の開催について
- 特定 B 型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法に基づく給付金制度の周知・広報のためのリーフレット等の送付等について
- 「東京都健康推進プラン 21(第三次)」の送付について
- 令和 6 年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストの一部訂正について
- 「令和 6 年度東京都医師会診療報酬改定講習会」の講演映像及び資料のホームページ掲載並びに 第 3 回講習会の参加者募集について
- 「障害者差別解消法医療関係事業者向けガイドライン」等の改正について
- 身体障害者福祉法第 15 条に基づく医師に対する新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に関する障害認定の取扱いの周知について
- 令和 6 年度介護報酬改定にかかる留意事項の周知について
- 令和 6 年度介護報酬改定に関する通知等の送付について(その 4)
- 「自殺対策における専門的人材養成事業」に係る研修動画について
- 令和 6 年度「日本医師会生涯教育講座」第 I 期(5 月)の開催について
- 医療機関等の窓口におけるオンライン資格確認等システムによる照会の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について
- 医療機関等の窓口におけるマイナンバーカードの取扱いについて(協力依頼)
- 新型コロナワクチンの接種に伴い副反応を疑う症状が生じた者への対応について
- 医療機関における電子処方箋の活用・普及の促進事業に係る事前周知について
- マイナンバーカードの健康保険証利用に関する説明動画のご活用について
- 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に関する Q & A の改訂について
- 公費負担医療及び地方公共団体の医療費等助成事業に係る資格確認のオンライン化に関する令和 6 年度先行実施事業へのご協力等について
- 東京都サービス付き高齢者向け住宅整備事業等の周知について
- 訪問診療等に使用する車両に係る駐車許可

- の周知について
- 令和6年度診療報酬改定に関する各種情報提供について
  - 先天梅毒対策の啓発リーフレットについて
  - 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン及び乾燥弱毒生麻しんワクチンの供給について（更新情報）
  - 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
  - 疑義解釈資料の送付について（その3）
  - 令和6年度診療報酬改定における施設基準の届出及び審査支払機関への情報提供等の対応について
  - 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第10.1版」の周知について
  - 令和6年度のデータ提出加算（A245）及び外来データ提出加算等に係る説明会について
  - 「東京都感染症マニュアル2018」の一部改訂について（劇症型溶血性レンサ球菌感染症）
  - 令和6年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について
  - 令和6年度「小児等在宅移行研修」（診療所等医師向けセミナー）の案内送付について
  - 「医療DX推進フォーラム～使ってイイナ！マイナ保険証～」開催のご案内について
  - マイナンバーカードの保険証利用の促進について
  - 長期取載品の処方等又は調剤に係る選定療養の対象医薬品について
  - 令和6年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について
  - オンライン診療その他の遠隔医療に関する事例集（令和6年4月版）について
  - 診療所における新興感染症対策研修の動画・資料公開について
  - 医療措置協定に関する東京都からの通知について（情報提供）
  - ベースアップ評価料届出の手順について
  - 疑義解釈資料の送付について（その4）
  - 令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その9）
  - 令和6年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の協力依頼について
  - 東京都医師会・禁煙推進企業コンソーシアム共催「2024年世界禁煙デーイベント」の開催について（再周知）
  - 公益通報者保護法第11条第1項及び第2項の規定による公益通報窓口設置等の周知について
  - 日本医師会制作「医師の働き方改革に関する国民向け動画及びリーフレット」の周知並びに活用について
  - 診療報酬オンラインセミナーの開催について【ベースアップ評価料の届出と医療DX加算のポイント】
  - 令和6年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストの一部訂正について
  - ニューレジリエンスフォーラム「国民の命と生活を守る武道館1万人大会」にかかる更なる周知依頼について
  - 小冊子「禁煙は愛」2024年版について
  - 令和6年度（第58回）臨床検査精度管理調査の実施について
  - 令和6年度におけるデータ提出加算（A245）及び外来データ提出加算等の取扱いについて
  - 令和6年度第2回産業医Web研修会の開催について
  - 令和6年度HPVワクチン男性接種補助事業の実施について
  - 令和6年度農薬危害防止運動の実施について
  - 医師の働き方改革に関する労働法説明会の周知依頼について
  - 疑義解釈資料の送付について（その5）
  - 令和6年度診療報酬改定で新設されたベースアップ評価料に係る届出について
  - 新型コロナウイルス感染症に係る検査等に関する特例の終了について
  - 「卒煙サポーター研修」開催案内チラシ配布のご依頼について
  - ベースアップ評価料と医療DX推進体制整備加算の届出について
  - 生活習慣病管理料に関する療養計画書（運動領域）参考資料の送付について
  - 医療用麻薬適正使用ガイダンスの改訂等に



ついて

- HPVワクチンの接種後の症状に関する相談窓口等について
- 「災害時のトリアージを理解しよう」特設サイトの公開について（第29回日本災害医学会総会・学術集会 市民公開講座）
- フリーランス法施行前実態調査について（協力依頼）
- コロナ後遺症オンライン研修会の開催について
- 令和6年度「日本医師会生涯教育講座」第I期（7月）の開催について
- 日本医師会認定産業医・健康スポーツ医制度における研修会の開催予定について
- 疑義解釈資料の送付について（その7）
- 長時間就業により疲労が蓄積している個人事業者等に対する医師の面談について
- 令和6年度エイジフレンドリー補助金の周

知について

- 新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等の終了に伴う令和6年度における請求事務の取扱いについて
- 令和6年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施について（依頼）
- 「東京都医師会・東京都保健医療局共催 海外渡航者や外国人患者を診療するための医療機関向け研修会」の周知について
- 子供の事故予防ハンドブック等の送付に係る御連絡について
- 使ってイイナ！マイナ保険証 PR 動画ダウンロードサイトについて
- 日本医師会社会保険担当理事連絡協議会の収録映像の掲載及びベースアップ評価料「賃金改善計画書計算ツール」について
- コロナ後遺症オンライン研修会の開催について

## 医 師 会 の 動 き

	令和6年6月20日現在		
医療機関数	191	病院	28
		医院・診療所	163
会 員 数	504	正会員	208
		準会員	296

### 会 議

5月10日	在宅医療推進強化事業会議
14日	定例理事会
22日	経理部会・監査会
23日	第1回西多摩地域糖尿病医療連携 検討会
28日	定例理事会
6月11日	定例理事会
14日	在宅医療推進強化事業会議
18日	第1回西多摩地域脳卒中医療連携 検討会
18日	西多摩医師会定時社員総会
21日	広報部会（会報編集）
25日	定例理事会

### 講 演 会 ・ そ の 他

- 5月9日 医療保険委員会（整備会）
- 9日 法律相談

- 15日 学術講演会（ハイブリッド開催）  
『認知症治療・ケアセミナー～多職種連携の重要性～』  
《特別講演》  
演題：「新しい認知症予防のトピックス」  
演者：岡山大学名誉教授  
阿部 康二 先生
- 21日 学術講演会  
『第34回西多摩呼吸器懇話会』  
《講演》  
講演1  
演題：「胸部X線写真の読影・解説」  
演者：市立青梅総合医療センター  
呼吸器内科 医長 日下 祐 先生  
市立青梅総合医療センター  
呼吸器内科 甲斐 文彬 先生  
講演2  
演題：「COPD 患者の'身体活動性'  
向上のために」  
演者：（医財）健貢会総合東京病  
院 呼吸器疾患センター長  
桑平 一郎 先生
- 23日 学術Web講演会

『第19回 青梅 CKD 勉強会』  
《講演》  
演題:「仮) 青梅市の CKD 現状とデータヘルス計画」  
演者:青梅市役所健康福祉部 健康課 特定健診係 檜島恵子様  
演題:「仮) CKD 診療の実際」  
演者:講師:市立青梅総合医療センター 腎臓内科 副部長 松川 加代子 先生

6月7日 医療保険委員会 (整備会)  
13日 法律相談  
19日 学術Web講演会  
『高齢者の心房細動を考える会 in 西多摩』  
《講演》  
演題:「“何が変わった?”『不整脈治療ガイドラインUpdate2024』」  
演者:北里大学医学部 循環器内科学 講師 深谷 英平 先生

21日 学術Web講演会  
『～ARNI Hypertension Seminar～ IN FUSSA』  
《講演》  
Session①  
演題:「ネフロン保護を目指した降圧治療」  
演者:公立福生病院 腎臓病総合医療センター センター長 中林 巖 先生

Session②  
演題:「各ステージにおける心不全治療薬の使い方」  
演者:東京医科大学八王子医療センター 循環器内科 講師 岩崎 陽一 先生

26日 学術講演会 (ハイブリッド開催)  
『循環器疾患連携セミナー In Nishitama』  
《特別講演》  
演題:「仮) 当院における最新治療について」  
演者:市立青梅総合医療センター 循環器内科 医長 大谷 拓史 先生

**役員出張**

5月17日 地区医師会長連絡協議会、都医選出日本医師会代議員連絡会

29日 在宅医療推進事業地区医師会担当理事連絡会  
30日 第6回TMA医療会議  
6月6日 認知症サポート医地域連携促進事業担当理事連絡会  
20日 第302回東京都医師会代議員連絡会  
21日 地区医師会長連絡協議会  
21日 関東甲信越医師会連合会所属医師会長・日本医師会代議員合同会議  
23日 第157回日本医師会臨時代議員会  
30日 令和6年度東京都災害医療図上訓練

**【入会会員】(正会員)**

氏名 吉野 美裕紀  
勤務先 (医社) 珠泉会 いなメディカルクリニック  
出身校 東京女子医科大学 昭和60年3月卒

**【退会会員】(正会員)**

氏名 日下部 史郎  
勤務先 (医社) 珠泉会 いなメディカルクリニック

**【入会会員】(準会員)**

氏名 田淵 幹大  
勤務先 (医社) 豊信会 草花クリニック  
出身校 広島大学 平成31年3月卒

氏名 正木 幸善  
勤務先 (医社) 久遠会 みずほ病院  
出身校 鳥取大学 昭和56年3月卒

氏名 河西 克介  
勤務先 (医社) 久遠会 みずほ病院  
出身校 大阪大学 平成8年3月卒

氏名 窪田 峻  
勤務先 市立青梅総合医療センター  
出身校 東京医科歯科大学  
令和4年3月卒

氏名 橋本 萌詠美  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 新潟大学 令和3年3月卒

氏名 一和多 信孝  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 獨協医科大学 平成19年3月卒

氏名 木内 莉子  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 東海大学 令和3年3月卒

氏名 碓氷 もりの  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 聖マリアンナ医科大学  
令和4年3月卒

氏名 一川 祐貴  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 帝京大学 令和6年3月卒

氏名 増田 亜美  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 産業医科大学 令和6年3月卒

氏名 楡井 里奈  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校 日本大学 令和6年3月卒

氏名 堀合 真市  
勤務先 (医社) 和風会 多摩リハビリテー  
ション病院  
出身校 杏林大学 平成13年3月卒

氏名 小森 哲夫  
勤務先 (医社) 和風会 多摩リハビリテー  
ション病院  
出身校 弘前大学 昭和53年3月卒

氏名 薄 善孝  
勤務先 (医社) 真青会 こみ内科クリニック  
出身校 弘前大学 昭和53年3月卒

氏名 村田 亜香里  
勤務先 公立福生病院  
出身校 金沢大学 平成26年3月卒

氏名 諏訪本 拓海  
勤務先 公立福生病院  
出身校 慶応義塾大学 令和2年3月卒

氏名 山中 健嗣  
勤務先 公立福生病院  
出身校 長崎大学 平成27年3月卒

氏名 三浦 怜央  
勤務先 公立福生病院  
出身校 日本大学 平成26年3月卒

**【退会会員】(準会員)**

氏名 佐藤 弥都子  
勤務先 (医社) 久遠会 みずほ病院

氏名 松藤 民子  
勤務先 (医社) 久遠会 みずほ病院

氏名 山崎 舜  
勤務先 市立青梅総合医療センター

氏名 本多 一貴  
勤務先 市立青梅総合医療センター

氏名 藤島 公典  
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院

氏名 飯野 好明  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 石井 愛巳  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 小林 薫  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 高田 眞一  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 姫川 昊  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 村田 雄基  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 吉村 理  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 笠原 恵那  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 信夫 萌花  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 高橋 聡介  
勤務先 公立福生病院

氏名 功刀 祐子  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 豊崎 光信  
勤務先 公立福生病院

氏名 守屋 厚  
勤務先 (医財) 利定会 大久野病院

氏名 名久井 龍成  
勤務先 公立福生病院

氏名 中島 正暢  
勤務先 (医社) 和風会 多摩リハビリテーション病院

氏名 布施 孝久  
勤務先 公立福生病院

氏名 荒田 宙  
勤務先 公立福生病院

氏名 松山 健  
勤務先 公立福生病院

氏名 植木 奨  
勤務先 公立福生病院

氏名 桐ヶ谷 泉  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 大嵯 芳衣  
勤務先 公立福生病院

**【管理者変更】**  
(医社) 珠泉会 いなメディカルクリニック  
(新) 吉野 美裕紀  
(旧) 日下部 史郎

氏名 岡村 賢  
勤務先 公立福生病院

**【氏名変更】**

氏名 小幡 淳  
勤務先 公立福生病院

新 小田 祐里香  
旧 橋本 祐里香  
勤務先 市立青梅総合医療センター

氏名 鈴木 永里衣  
勤務先 公立福生病院

「生命を見つめるフォト&エッセー」について

日本医師会と読売新聞社で平成29年から実施している「生命を見つめるフォト&エッセー」コンテストの第7回の入賞作品集が完成し、次回の第8回についての募集が開始されています。

第7回入賞作品については、以下のアドレスにて公開されていますので、興味のある方はご覧ください(<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/works2024.html>)。

第8回については、5月9日(木)より作品募集が始まっており、10月2日(水)が締め切りとなっています。フォト部門とエッセー部門とに分かれており、生命の大切さや心温まるエピソードを、写真やエッセーで伝えるという主旨となっています。写真部門では賞金10万円、エッセー部門では賞金30万円など、副賞もいただけます。詳しくは、「生命を見つめるフォト&エッセー」で検索していただくか、以下のアドレス(<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご参照いただくと、詳しい募集要項が載っています。ご興味のある方はぜひご参加ください。

## お知らせ

### 保険請求書類提出締切日

令和6年8月（7月診療分） **8月8日（木）** 正午迄  
 令和6年9月（8月診療分） **9月9日（月）** 正午迄  
 （締切日以前の提出も可能です）

### 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を  
 毎月**第2木曜日 午後2時**より実施いたします。  
 お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 **7月11日（木）**  
**9月12日（木）**
- ◎場所 西多摩医師会館
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
 （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

## あ と が き



ようやくうっとうしい梅雨  
 に入りましたが、普通に夏が  
 来るのか心配です。

夏日・猛暑日・酷暑日？と  
 つらい暑さが待ってることを  
 思うと減入ってしまいそうです。

この6月1日施行の診療報酬改定で特定  
 疾患管理料から生活習慣病管理料への移行が  
 完全実施されました。

当方の準備不足もあり多忙な状態になっ  
 てしまいました。

診療時に6月から「糖尿病・高血圧症・  
 脂質異常症」は生活習慣病であり、その治療  
 管理についての変更があったことを伝え、納  
 得してもらった後に書式に乗っ取り内服や食  
 事・運動について指導説明しています。

疾病についての生活指導などは以前から  
 行っているのですが、特別な手間はありませ  
 んが診療報酬上の説明にかなりの時間がかか  
 ってしまっているのが実状です（5分ほど余計

な時間がかかり多くの患者様の待ち時間が長  
 くなり大変申し訳なく思っています）。

制度説明については2回目からは不要に  
 なってきますが、大変な労力になっており今  
 後も考えると果たして有効な改定であったか  
 どうか少し疑問も残ります。

生活習慣病は現代日本においては疾患では  
 ないのかもしれませんが、様々な疾病の原因  
 になっているはずで。

ここ数年 COVID-19 の感染拡大があり、  
 当院でも多くの感染陽性者を診療してしま  
 した（ここ1ヶ月は患者数の再増加を認めて  
 います）。

既往歴問診時に「現在治療を受けている疾  
 病も含め今まで何か病気はありますか？」と  
 問いかけると「何事ありません」と返事があ  
 り、「では内服中の薬もありませんね？」と  
 再度確認すると「高血圧の薬は飲んでいま  
 す」「コレステロールの薬は飲んでいま  
 す」「糖尿病の薬は飲んでいます」と返事をする

方が多いと感じます。

今回の改定では「生活習慣病」は病気ではないといたい感じですが、一般の患者様も疾病ではないと思っているのでしょうか？

今後これらが疾病でないとするなら使用する治療薬は健康保険薬価からは取除になり大幅な医療費（健康保険での）削減が達成できると思われました。

どんな方向性が良いのかは不明です。

今はなんとか初回の生活習慣病管理指導書類を作成し終わるまで多忙でつらい日々を乗り切ろうと思っています。

近藤医院 近藤之暢

## 表紙のことば



### 『カトレア、イングリッド』

昭和62年にあきる野の多摩らんセンターにて1万円で購入した株です。高価でしたので大分悩みましたが、その後は毎年20cmの大輪の花をつけて楽しませてくれています。

大河原森本医院 森本 晋

一般社団法人 西多摩医師会

令和6年7月1日発行

会長 進藤幸雄 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会

三ツ汐 洋 下村 智 鹿児島武志 菊池 孝 奥村 充

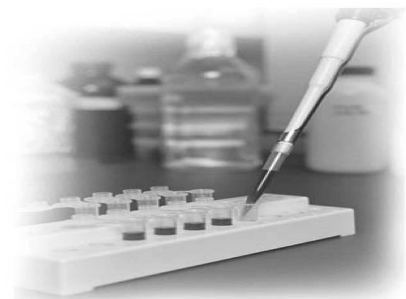
馬場 一徳 小高 哲郎 近藤 之暢 古川 朋靖 神應 知道

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

## 生命の輝きをみつめ

### “いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ  
地域に根ざした検査所として歩んできました。  
高度な技術と最新の設備で地域医療の  
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL; 04-2964-2621 FAX; 04-2964-6659

URL; <http://www.e-musashi.co.jp>